

2年2組 坂東市・菅生沼周辺での環境活動報告

1. はじめに

2年2組は、坂東市菅生沼へ地域環境ボランティアに行くにあたり、テーマごとにグループに分かれ、それぞれのテーマについて調査をしながらゴミ拾いをすることにしました。

実施後、グループごとに調べたことをまとめました。

2. 池の中を調べよう

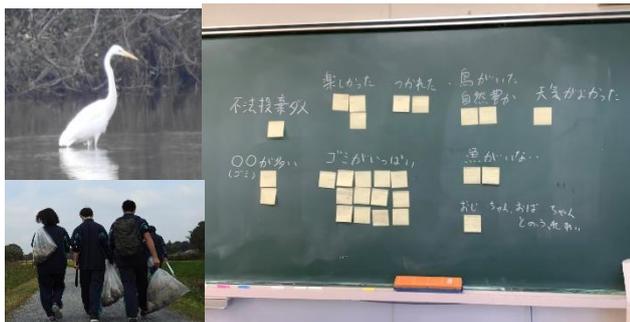
水質や水の中のいきものを調べるために、菅生沼とつながっていて横を流れる飯沼川で釣りをしました。エサはパンの耳とうどんを使いました。結果、魚を釣ることはできませんでしたが、飯沼川の水が浅く、にごっていることがわかりました。飯沼川は三和高校の横を流れる西仁連川の下流にあたります。釣りをしたところでは、西仁連川の上流よりも水がにごっていて魚も少ないと感じました。

3. 菅生沼の生きものについて

菅生沼の周りを歩くことにより、自分たちが思っていたよりも動物が少なかったです。また、ハクチョウがみられると聞いていましたが、私たちが行ったときは見ることができませんでした。でも、カモやシラサギなどの動物が多くみられてよかったです。

4. 菅生沼の植物について

菅生沼には、紅葉前の緑の木々が多く、なかには竹林や、木の実のなった植物もたくさんありました。また菅生沼に行ってみて、すれ違う方はご高齢の方が多く、みなさんあいさつしてくださったり、声をかけてくださったりしました。坂東市にはやさしく心のあたたかな方々がたくさんいると感じました。



5. 菅生沼にいた人々について

菅生沼には毎年、11月ごろからハクチョウが来るため、ハクチョウを見に来る人が多くいます。また、周辺は車どおりが多く、散歩する人や、ランニングする人がいました。おもにご高齢の方々がでした。ハクチョウ以外にもアイガモがいてかわいかったです。自然が多く、菅生沼はきれいでした。

6. 落ちていたごみの種類について

今回あったごみの種類は、ペットボトル・缶・プラスチック・吸い殻・ダンボール・袋などでした。わかったことは、国道に接している歩道ぞいには缶ゴミが多い、砂利の所には吸い殻がたくさんあった、茂みにはゴミ袋や燃えるごみが多かった、ということでした。

7. 拾ったごみの分別について

もともと別のテーマで調査をしていましたが、思うような結果が出なかったため、拾ったごみの分別についてまとめました。拾ったごみは坂東市のごみの分別のルールにそって、燃えるごみ、燃えないごみ、びん、かん、ペットボトルに分けました。その結果、特にペットボトルと缶が多かったことがわかりました。1、2組のみんなで約2時間ごみひろいをしたところ、全部で13袋分のごみが集まりました。また、タイヤやごみ箱も捨てられていました。

8. おわりに

後日、学校に戻ってふり返りをしました。ふせんに意見を1人ひとことずつ書き、それをまとめました。達成感を感じる意見や自然豊かだったという意見もあるなかで、一番多かったのは、思っていた以上にゴミが多かったという意見です。調べて分かった通り、自然豊かで人々の癒しの場になっている菅生沼をきれいにするためにどうすればいいのか、これからも考え続けていきたいと思っています。